

(参考4)

良質な市場形成に向けた基礎理論 と政策の架け橋づくり

矢野 誠 (RIETI)

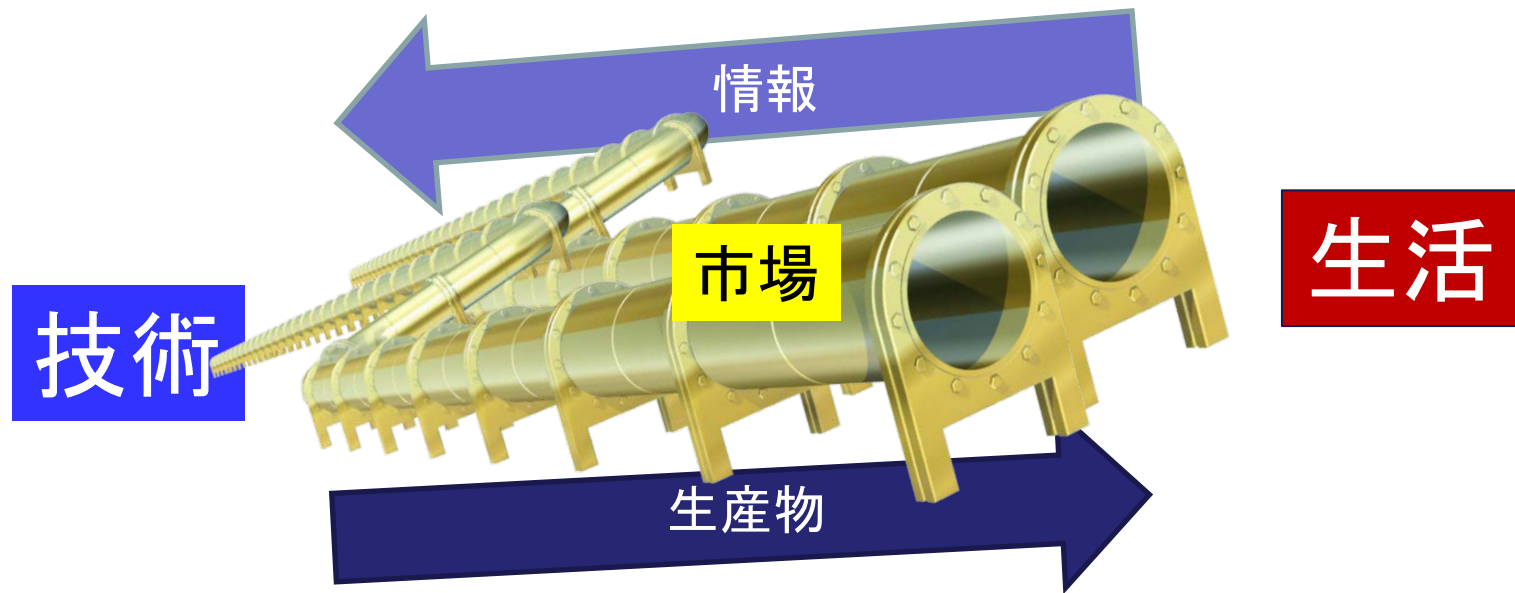
目次

1. 概要
2. 市場の質理論
3. 「消費行政」と基本理念
4. スマート消費社会の構築
5. スマート消費社会の研究

概要

市場とは

市場は技術と生活をつなぐ双方向パイプ



市場の質

技術と生活をつなぐパイプの質が重要

市場の質

良い市場も悪い市場もある

悪い市場の例

押し売り

詐欺

粗悪品

市場の質の三要因

競争の質

情報の質

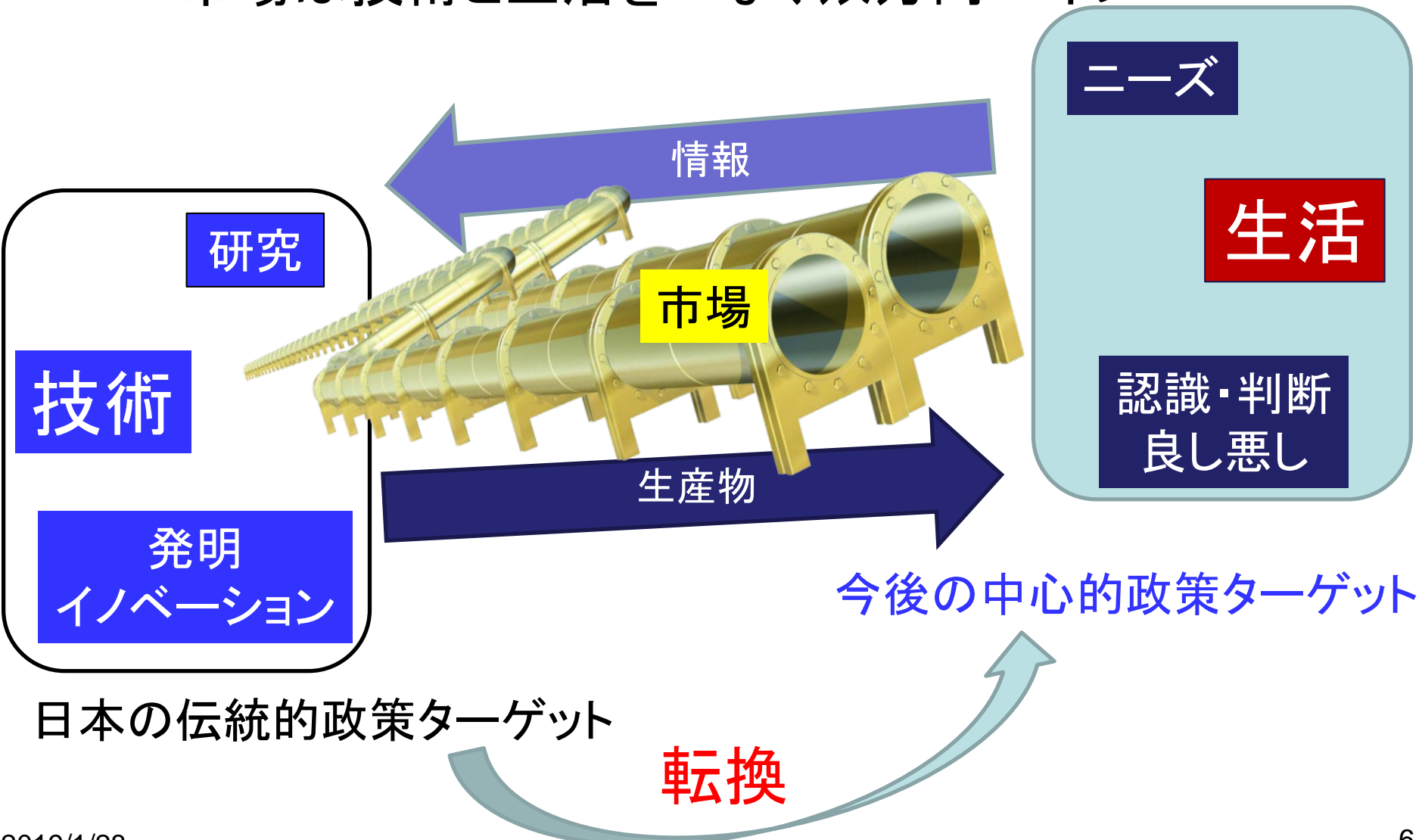
製品の質

市場の質理論

健全な発展成長には高質な市場が不可欠である

新しい経済政策：消費から産業へ

市場は技術と生活をつなぐ双方向パイプ



今後の中心的政策ターゲット

日本の伝統的政策ターゲット

転換

産業育成から消費育成へ

研究

技術

発明
イノベーション

転換

ニーズ

生活

認識・判断
良し悪し

日本の伝統的政策ターゲット
たくさんの研究の蓄積 (RIETI, NISTEP, ESRI)

今後の中心的政策ターゲット
まったく手がついていない

公正取引委員会：消費者の視点
データは誰のものか

消費者から出発する経済学が必要

ニーズ・プルの産業育成

スマート消費社会の構築

新消費者保護

市場の質理論

市場の質理論（矢野）

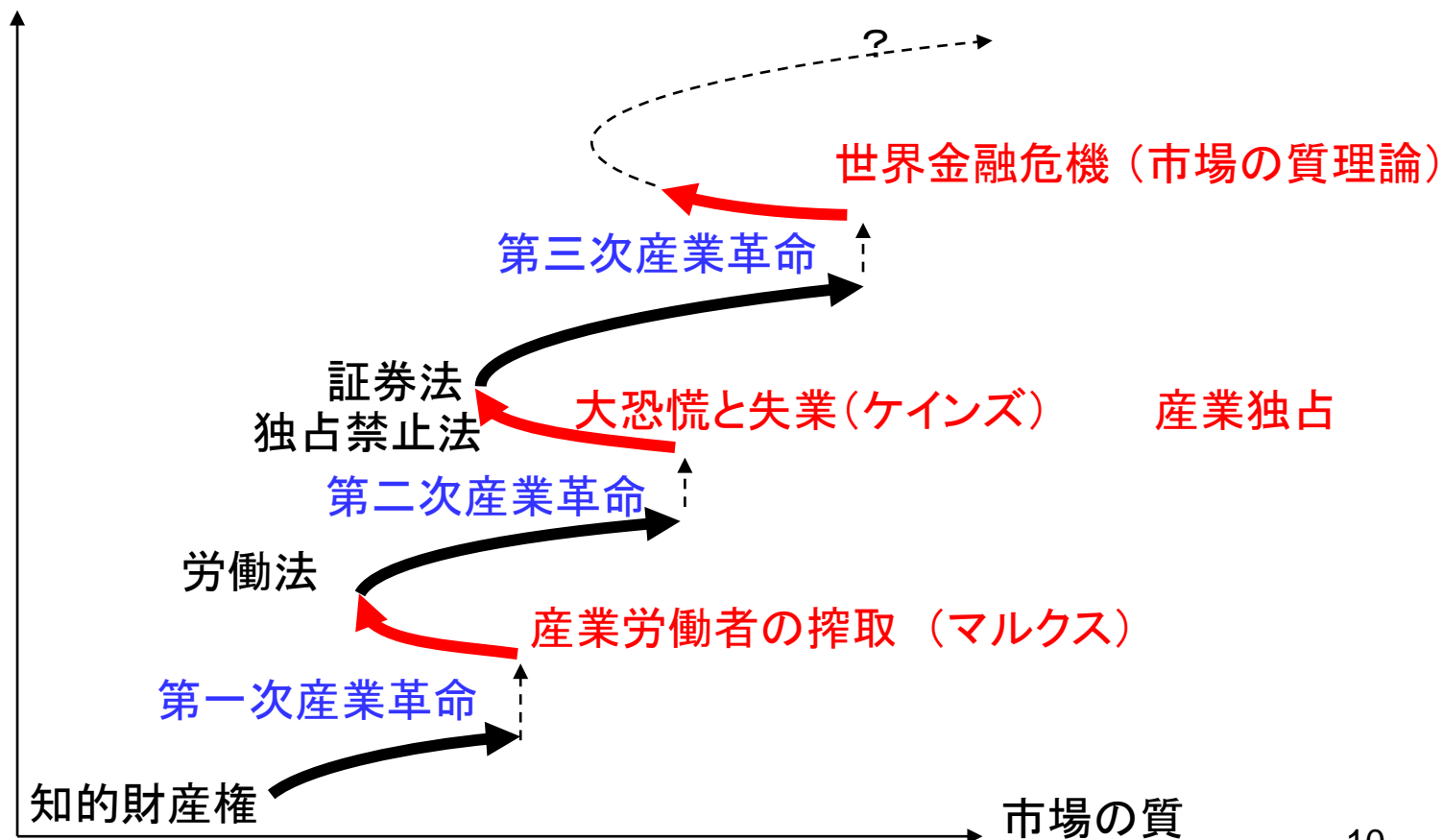
1. 現代経済の健全な発展成長には
高質な市場が不可欠である
 - － 市場の質とは？
 - － 健全性とは？

自然に高質な市場が形成されるわけではない

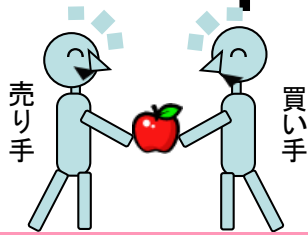
市場の質と産業革命サイクル

特定の制度的構造の下で、産業革命と市場の危機が循環する

本源的生産力



市場の質のダイナミクス



高質な市場

高質な意思決定

組織 制度

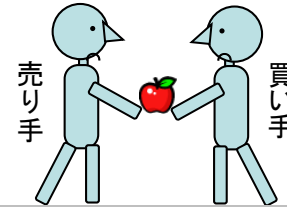
法律

慣習 文化

倫理 意識 哲学

教育

高質な市場や意思決定
を支える
市場インフラ



低質な市場

低質な意思決定

組織 制度

法律

慣習 文化

倫理 意識 哲学

教育



社会インフラ・パーツの再コーディネーション
による新しい状況に適應した社会インフラの構築

市場の質の定義

- 効率性基準
 - 無駄のないこと
- 公正性基準
 - 市場を支えると広く認められたルールが順守されていること
 - 市場の機能を高めるルールが必要
 - どんなルールでもよいわけではない
 - どんなルールが必要なのか？

市場を守る公正性の基準と担保

- 私有財産原則
- 自発性原則
- 無差別性原則 ⇒ 公正な競争

- 競争環境の保全
 - 所有権, 知的財産権 ⇒ 特許庁
 - 公正な競争 ⇒ 公正取引委員会
 - ビジネス側に偏る
 - 競争環境の総合的整備・保全: どこが責任を持つのか

市場競争に関する公正性の基準

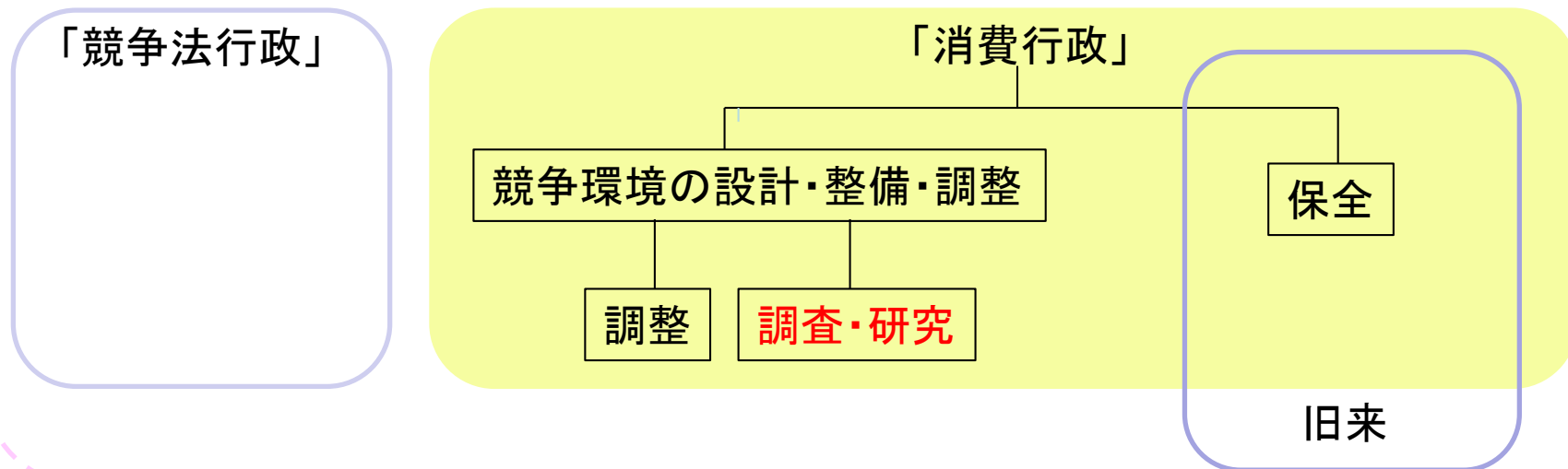
- 市場競争を支える基本原則
 - 基本原則1 (私有財産原則):
 - 財産を他人が侵害してはならない
 - モーゼの10戒, Torts の理論, コースの定理,
 - 基本原則2 (自発性原則):
 - どの市場参加者も自らの意思に反する取引は強制されない
 - アダム・スミス, 契約自由の原則
 - 基本原則3 (無差別性原則).
 - どの市場参加者も, 経済外的な条件によって差別されない
 - 誰が誰とでも, 取引できる
 - 自由参入, コアの理論 (エッジワース, デブリュー・スカーフ)
 - 誰が何単位でも取引できる
- 透明性: 原則1, 2, 3の必要条件?

「消費行政」と基本理念

「消費者行政」から「消費行政」へ

- 不利益を受けた消費者の救済に偏る
 - 競争法の不備・不足の結果 ⇒ 強い企業, 弱い消費者
 - 携帯電話の販売方式: あまりに消費者に不利
- 新しいスタイルの「消費者行政」=「消費行政」
 - 競争環境の総合的整備

市場を守る行政



売り手と買い手：水平的関係を築く

- 売り手と買い手を階層的にみる視点は現代には合わない
 - 旧来の「商売」の視点 — 「お客は神様」
 - 旧来の「消費者行政」 — 「企業は暴君」
- 現代経済における売り手と買い手： 水平的関係
 - 売り手の競争が買い手に利益をもたらし、
 - 買い手の競争が売り手に利益をもたらす
- 水平的関係の中で、質の高い消費活動が行われる環境づくり

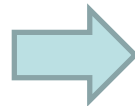
新消費者保護の基本理念

新消費者保護の一般的理念＝競争環境の整備保全

アメリカの投資家保護の基本理念＝情報開示

保護の目的・手段の転換

転ばぬ先の杖

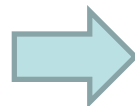


転ばない人を作る

競争環境の整備

転んだ人の行政による救済

集権的救済



転んだ人の司法に基づく救済

個人に立脚した分権的救済

アメリカ証券法での情報開示

- アメリカの証券法 1933
- 大恐慌の原因(上院, ペコラ委員会)
 - 金融機関による過剰投資への誘導
 - 銀行と証券子会社, 証券会社と銀行子会社間の損失の付け替え
- 対策
 1. 金融業界の規制・国有化
 2. 情報開示制度
 3. 何もしない
- 証券取引委員会の設立
投資家保護＝情報開示

情報開示による投資家保護の効果

- Merrill Lynch の政策 (1940-1950年代)
 - セールスマンの出来高給与制度から固定給制へ
 - セールスマンへの経営分析・投資分析教育
 - それに基づかないセールスの禁止
- 効果
 - 投資家の意思決定の高度化・投資分析への熟達
- 一般投資家：リスク分散, ポートフォリオ選択

競争環境の保全

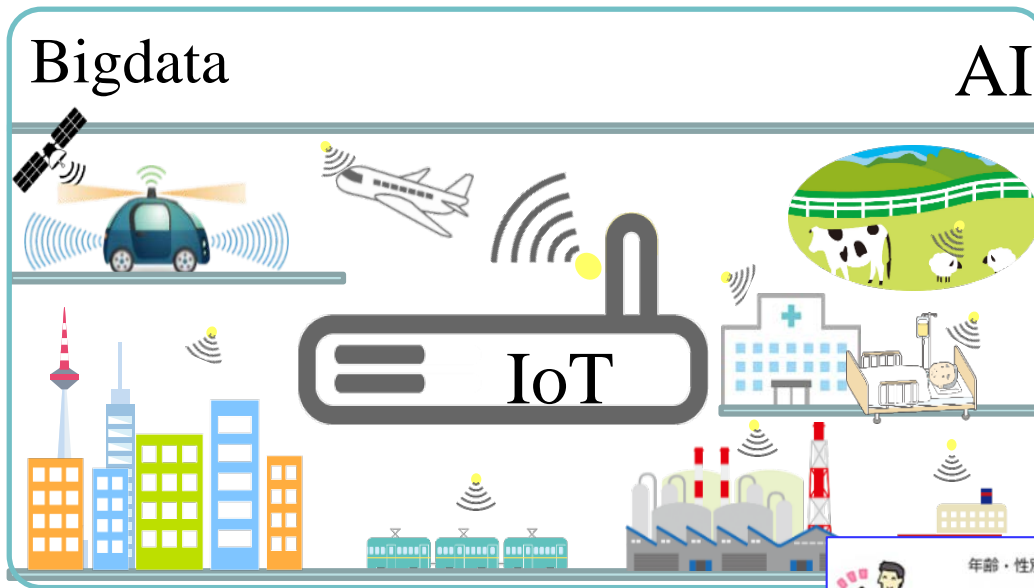
- 競争環境の保全
 - 売り手間の競争の効果
 - 売り手間の競争を通じて、消費者は適切な交換の利益を受けることが可能になる
 - 消費に関する正確な意思決定を浸透させる

新消費者保護の効果

- 競争環境の保全による新消費者保護
 - モノがより安く手に入る
 - 技術革新が迅速に市場に取り込まれ、よりよい商品の展開が進む
- 競争環境の保全の失敗の結果
 - 過去：
 - 心臓医療, PC, ソフトウェア, 携帯, インターネット環境
 - 今後：
 - ビッグデータ, ブロックチェーン, 仮想通貨, 電気自動車, AI ??

スマート消費社会の構築 (新消費者保護の目的)

Society 5.0



世界中の資源データがネット
でつながり，利用される



スマート消費社会 Society 5.0 の必要条件

競争環境の保全

転ばない人を作る

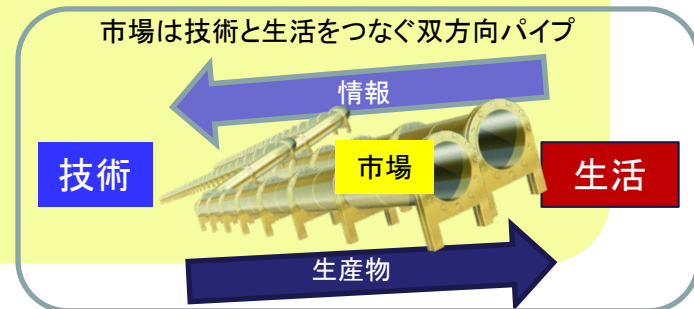
転んだ人の司法に基づく救済

個人に立脚した分権的救済



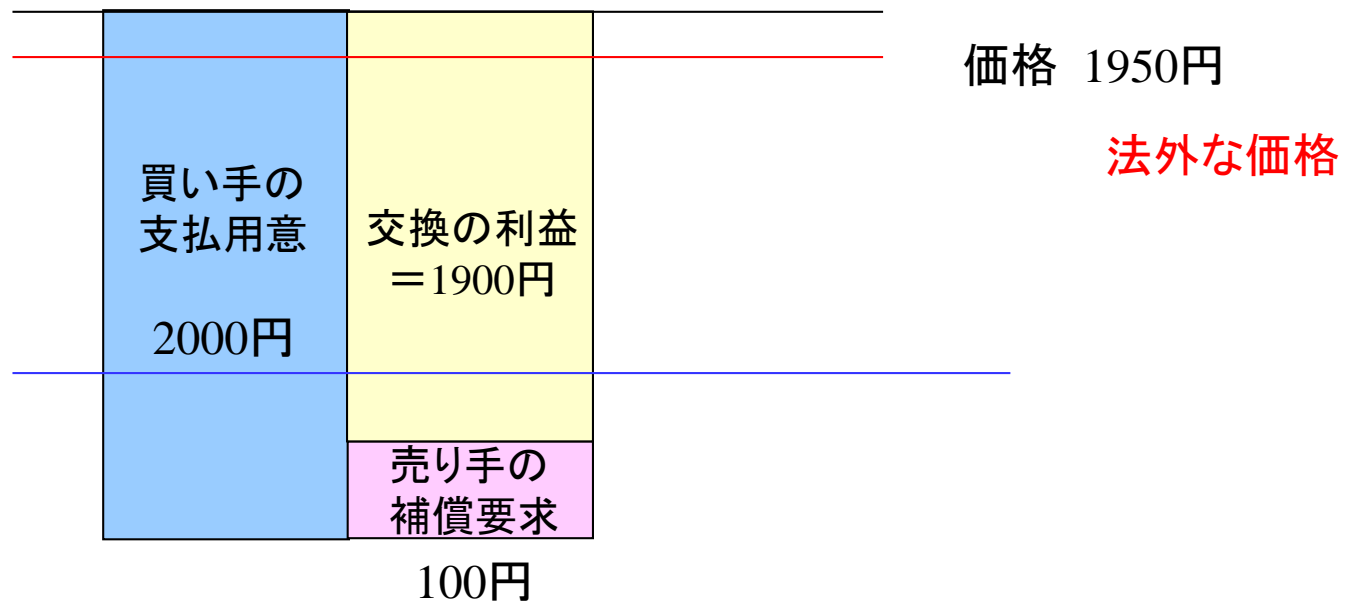
スマート消費社会

高質な市場の中で、
技術革新がいち早く生活に還元され、
ニーズが技術革新に迅速に反映される



「消費行政」の確立が急務

交換：利益の創出と分配



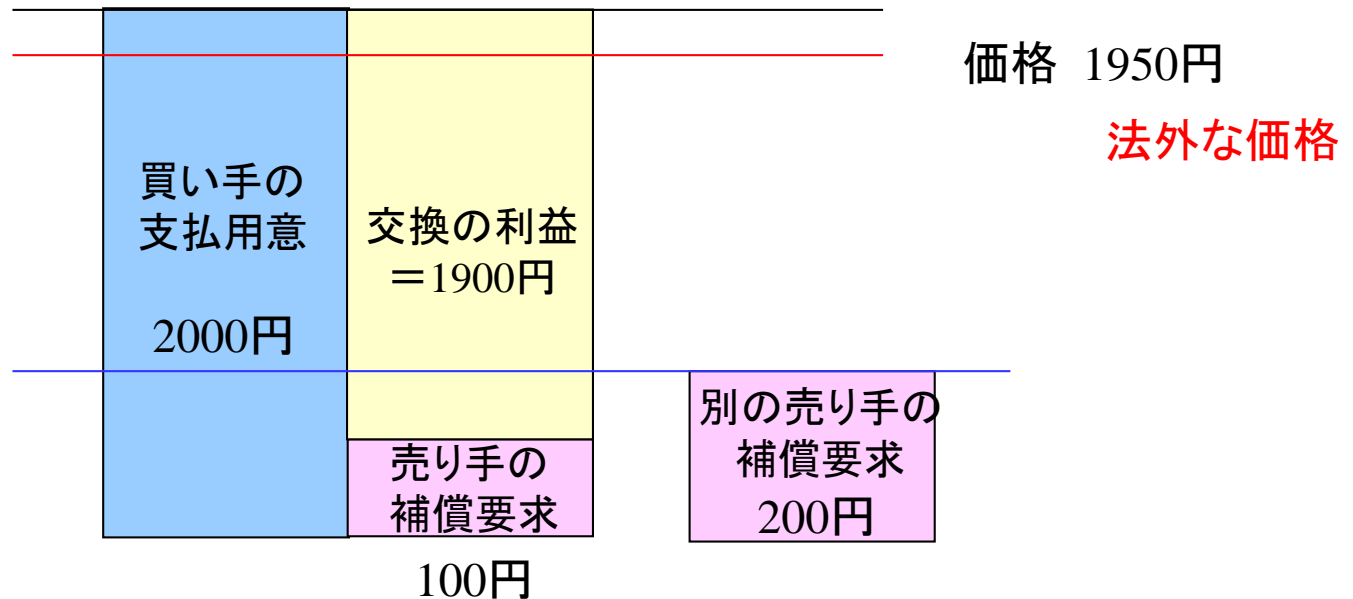
交換の総利益：支払用意－補償要求 資源配分の効率化

交換からの買い手の利益：支払用意－実支払

交換からの売り手の利益：実支払－補償要求

基本理念の経済効果1:

消費者への適正な交換利益の分配



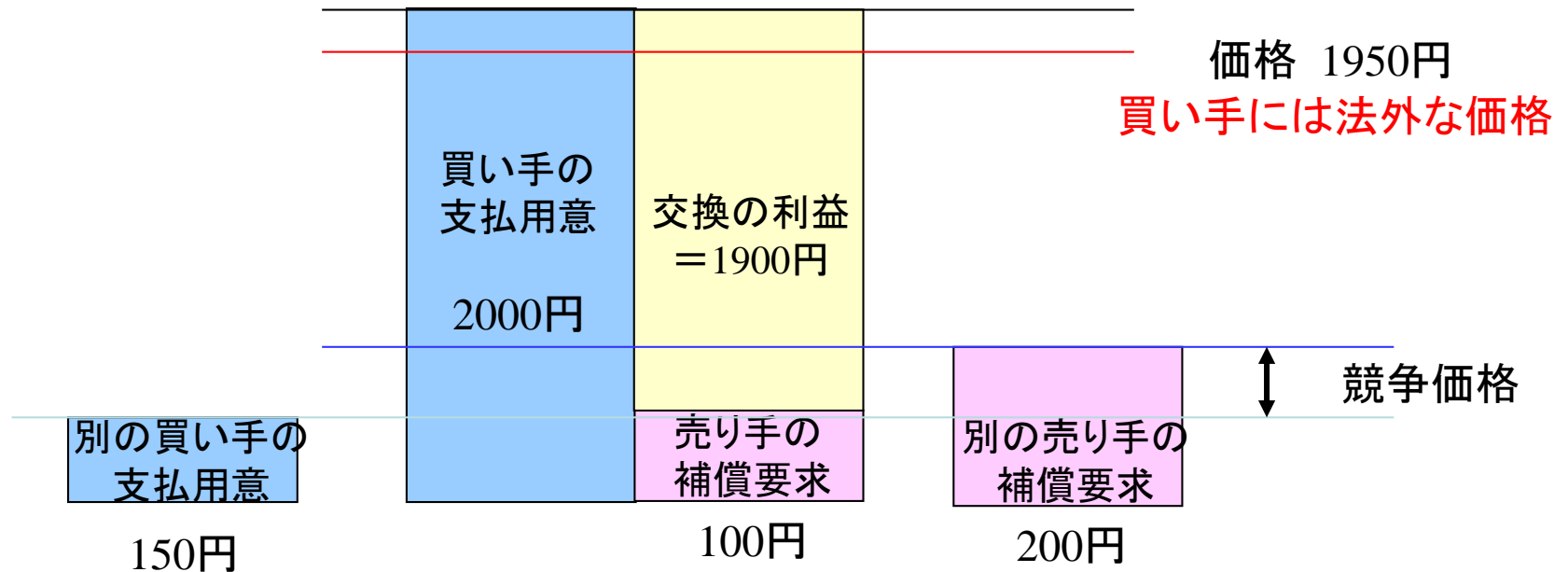
200円以上払うわけがない, つまり, 競争価格は200円以下

消費者が売り手にロックインされない

ヨーロッパ・アメリカでの韓国製自動車の評価 — 高品質で安価な車

より良いものを利用する柔軟性, 探索努力

競争：交換利益の分配の公正化



買い手は200円以上払うわけがない、つまり、競争価格は200円以下
売り手は150円以下で売るわけがない、つまり、競争価格は150円以上

公正な価格形成

消費選択の柔軟性

1000 台あたりの電気自動車普及率 2018

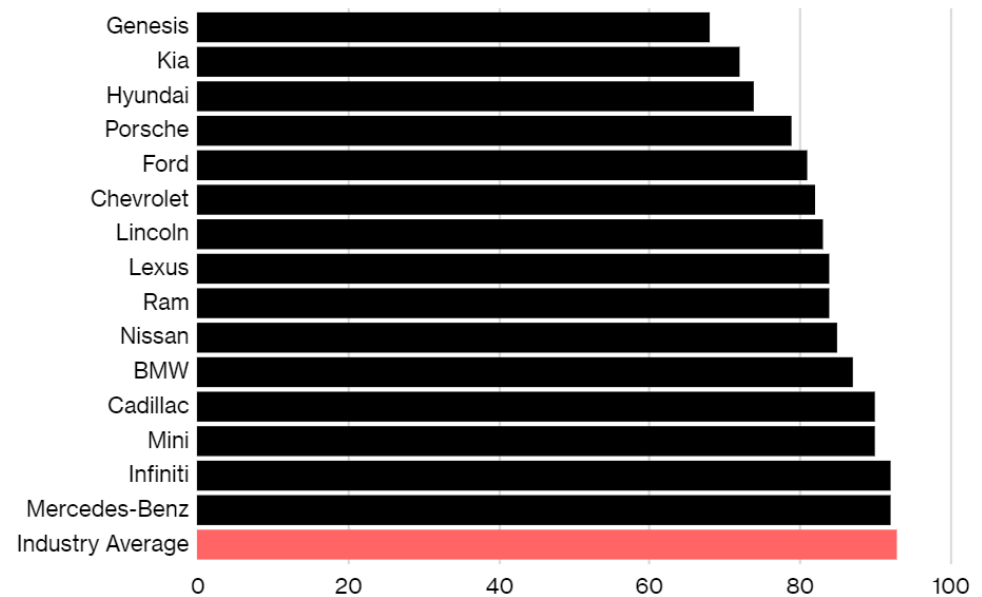
https://en.wikipedia.org/wiki/Electric_car_use_by_country

ノルウェー	オランダ	スウェーデン	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ	カナダ	日本	中国
55.9	8.4	7.8	3.4	3.2	3.1	2.4	2.2	1.9	1.6

Commanders of Quality

Korean, German and U.S. brands lead J.D. Power's 2018 Initial Quality Study

■ Brands' problems per 100 vehicles



Source: J.D. Power

Note: Study measures problems reported in first 90 days of ownership.

Bloomberg

Hyperdrive

Korean Cars Beat Porsche in Quality Ranking

By David Welch

2018年6月20日 21:00 JST Updated on 2018年6月21日 9:17 JST

スマート消費社会の研究

「スマート消費社会研究所」 を作るとしたら

- 基本理念の形成
- 組織設計
- 研究テーマ

- 以下では、私見をお話します

組織のあり方

- 消費者庁のコミットメント
 - RIETI: 青木昌彦初代所長と経産省の歴代次官(渡辺次官, 広瀬次官)のコミットメント
 - 研究の独立性・長期性の担保と研究テーマの適切な方向付け
 - 組織の長期性 ⇒ 外からの高い評価, 国際性
- 組織に望まれること
 - 研究ができるだけでなく, 適切な研究テーマを設定できる官僚/インハウス研究者を育てる
 - 組織運営への研究者の関与
 - 研究者コミュニティとの連携
- 昔の経済企画庁時代の研究所のイメージ
 - (馬場所長(京大教授), 香西統括研究官)
- 昔との違い
 - 経済学も経済学者も進歩している

研究テーマ

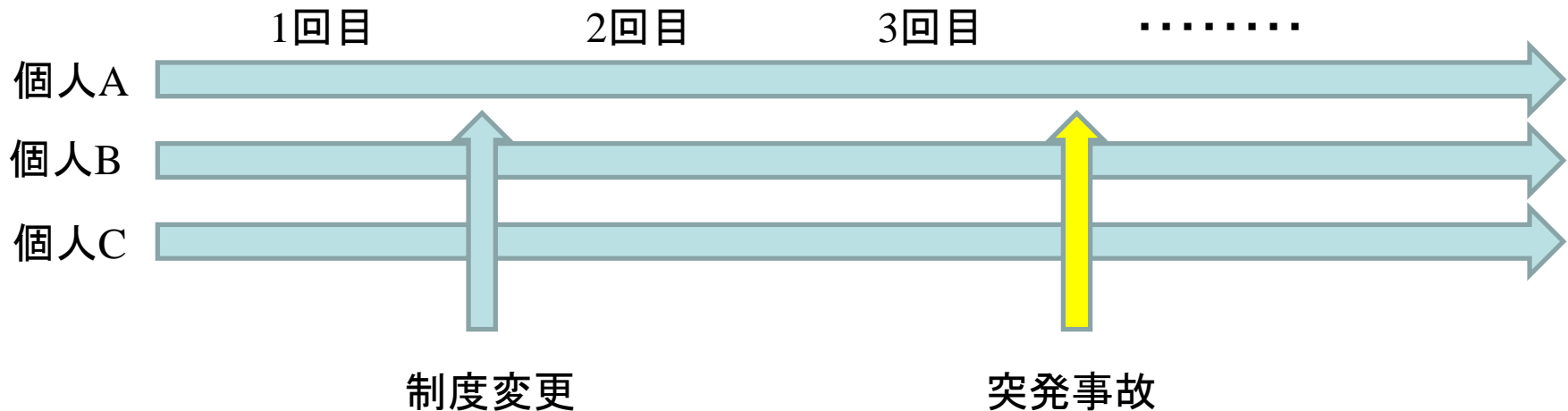
- 基準1：消費行政に資する国際的最先端研究
 - Discussion Papers + 国際学術誌
 - 基準2：政策貢献
 - Evidence-based Policy Making
 - Not Policy-based Evidence Making
1. データ構築
 2. 実証研究
 3. 理論研究

データ構築

- 独自のパネルデータ構築
 - 消費のビッグパネルデータ
 - Scan Panel Data
 - パネル調査
 - 経済生活
 - 健康
 - 幸福度
 - ソーシャル・キャピタル
 - 内閣府でもこうしたテーマのデータ構築が行われたが、長続きせず最先端研究に資するのは難しい
 - 長期的展望が不可欠
- よいデータがあれば、最先端研究が必ずできる

パネルデータ

- 多数の同一個人の生活, 考え方の追跡調査
– 欧米の社会科学的研究では主流
- ビッグデータ化

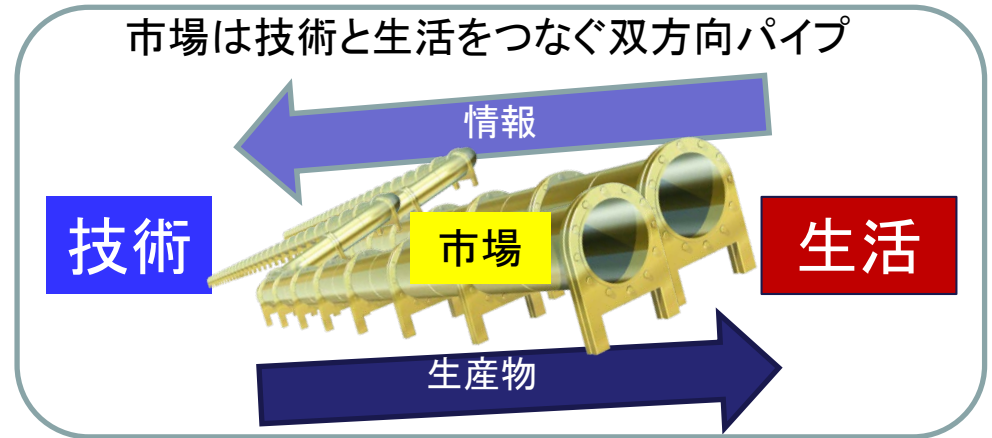


単なる相関ではなく、因果関係を把握するためのデータ設計

市場の質の計測

健全な発展成長には高質な市場が不可欠

市場の質 = パイプの質



これまでの産業政策の指標

$$\text{生産性} = \frac{\text{生産物}}{\text{生産要素}} \quad \text{RIETI プロジェクト}$$

これからの産業政策の指標

$$\text{市場の質} = \frac{\text{生活}}{\text{技術}}$$

具体的テーマ

- 消費ビッグデータに基づく消費市場の高質化を支える法制度に関する実証研究
 - 消費のビッグデータに基づく**製造物瑕疵の波及効果**と不法行為の実証分析
 - **ダンピング法制**・非関税障壁等貿易制度の消費者への影響
 - **情報制度**と市場の質の理論・実証分析
 - **幸福度**の決定要因としての健康(精神的要素)と所得(物理的要素)
 - **イノベーションの決定要因としての新規性性向**
 - ゲノムを含む生命科学データを用いたソーシャルキャピタルと法制度の実証分析 — 検証

スマート消費社会の形成

- 消費財市場を支える市場インフラの構築
 - スマート消費社会
 - スマート消費を支える市場インフラ

自発性, 互恵性



競争の質

スマート消費者

知悉性



情報の質

選別眼, 鑑識眼



製品の質

市場は大人が集まって取引をする場！

市場の質理論への批判

市場は「大人」が参加する場だ

年寄りや主婦は本質的に賢くない、なれない そんな馬鹿な

主婦は忙しくて賢くなろうとする暇などない ？

あなたは家族に毎日、朝晩、食事を作ったことがあるのか？ 失礼な

新消費者保護の確立には
こうした批判を乗り越える必要がある

男は生産、女は消費という感覚から転換する必要がある

迅速に生活のニーズを生産に反映する

消費者の意思決定の高質化

